

自己評価点検報告書

令和 2年 3 月 31 日現在

学校名 専門学校金沢美専
令和 2 年 3 月 31 日作成

基準1 教育理念・目的・ビジョン

①自己点検評価結果

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

1-1 教育理念について	RO1
学校が教育を行う理念が明確に定められているか	4
理念は教職員・学生に周知されているか	4

1-2 教育目的・育成人材像について	RO1
学校が教育を行う目的・育成人材像などが明確に定められているか	4
目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	3
目的は時代、業界、学生のニーズに対応しているか	4
目的・育成人材像は教職員・学生に周知されているか	4
目的は時代の変化に対応しその内容を適宜見直されているか	4

1-3 ビジョンについて	RO1
学校の将来構造を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	3

②現状認識・評価等

学院全体としての理念や教育目的、育成人材像については明確に定められている。
 職業実践専門課程の中での取り組みでも、業界と直結して必要なカリキュラム、人材育成を行っている。
 カリキュラムポリシー、デュプロマ・ポリシーを策定し、育成人材の計画・方法を定めている。
 今年度は3ポリシーの制定により、育てる学生像を明確にし、そのための教育をどうするかという部分が教職員に周知できた点は評価できる。
 今後は立案したポリシーをより具体的なものに落とし込み、教育内容及びその質の充実化を図る必要がある。
 中期的計画については、場当たりのなものにしないように、将来像をしっかりと描き、具体的な方策までもを計画していく必要がある。

③課題

学校としての将来像（ビジョン）を描くことと、それに向けた中期計画の立案

④改善方策

今年度策定した3ポリシーをもとに、育成すべき人材像をどのように達成していくかという点について、学生2年間の育成計画及び学校として育成すべき人材を年々どのように高めていくかを具体的に示した3カ年程度の中長期計画を策定する。

⑤特記事項

--

基準2 学校運営

①自己点検評価結果

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

2-4 法人運営について	RO1
学校の目的、目標に基づき学校運営方針は明確に定められているか	4
学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	3
学校は事業計画に沿って運営されているか	3
意志決定システムは確立されているか	3
意志決定プロセスのポイントとなる仕組み（会議等）が制度化されているか	3
意志決定の階層・権限等は明確か	3
業務効率化を図る情報システム化がなされているか	3
学校運営方針はきちんと教職員に明示され伝わっているか	3
学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか	3

2-4について

②現状認識・評価等

学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められており、理事会・評議委員会を経て決定されている。そこから、各職員、各部署に必要なことは明示されている。各種規定に関しては常に改良改善はされていると認識しているが、一般企業と比べると遅れていると感じるときもある。今年度は教務細則が制定されたことを受け、今まで教員間で曖昧にとらえられていたものも基準として明確になった。

③課題

募集の面では数値目標を立てて取り組まれているが、教育成果の目標立案、その実現のための単年度計画の策定が必要会議については毎月開催されているが、確認報告事項も多いため、時間も限られるため、報告がメインで意見交換の場にはなっていない。

④改善方策

募集目標と同じように単年度の教育目標を立てて、その目標を達成するための方策を検討する。会議の重要性の再認識とそこでの議案について、必要なものについては年間で計画しておく。

⑤特記事項

--

2-5 学校組織について	R01
運営組織はあるか	4
運営組織や意志決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか	4

2-5について

②現状認識・評価等

運営組織があり、目的・目標を達成するためのものになっている

③課題

組織の業務効率を上げる。

④改善方策

マニュアルの整備・改善とそれに基づく運営の実施。

⑤特記事項

2-6 財務状況について	R01
主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	3
年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして有効かつ妥当なものとなっているか	3
予算は計画に従って妥当に執行されているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
会計監査を受ける側、実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	4
私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか	4
私立学校法における財務情報公開の形式は考えられているか	4

2-6について

②現状認識・評価等

財務数値に関する情報は適切に管理されている。
 監事による監査を2ヶ月に1回行っており、不適切事項があれば都度修正している。
 予算と実績の乖離幅も昨年度と比較すると改善され、より予算に沿った運営がなされている。

③課題

財務状況については一部の教職員のみが知っている状況なので、全体に開示し、予算意識、コスト意識を高める。

④改善方策

年度予算の開示、月次実績の開示。何にどれだけ費用が掛かっているのかをみえるようにする。

⑤特記事項

2-7 法令等の遵守について	R01
志願者、学生や卒業生及び教職員等、学校が保有する個人情報に関しその保護のための対策がとられているか	3
個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	3
法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	3
法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	3
自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善に努めているか	4
自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか	3
自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	3
自己点検・自己評価結果を公開しているか	4
自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか	3

2-7について

②現状認識・評価等

自己点検・自己評価が実施されており、学校運営の問題点の改善に努めている

③課題

自己点検結果については、一部でのみ管理されているため、組織全体への共有と、改善への取組が必要である。

④改善方策

年度末の自己点検結果の開示及び、課題の改善内容を次年度目標に反映し、実行していくための仕組みを構築する。

⑤特記事項

基準3 教育活動

①自己点検評価結果

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

3-8 教育目標について	RO1
各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに合致しているか	4
各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育機関を勘案して、到達することが可能なレベルとして明確に定められているか	4

3-9 カリキュラムについて	RO1
学科のカリキュラムは教育理念、目的達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	4
カリキュラム内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	4
カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	4

3-10 教科の指導について	RO1
学生による授業評価をしているか	4
授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	3

3-11 学生評価について	RO1
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4

3-12 資格試験について	RO1
目標とする資格はカリキュラム上で明確になっているか	3
目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	3

②現状認識・評価等

教育目標が定められており、それに基づいたカリキュラムが設定されている。
 職業実践専門課程の中で、カリキュラムには業界等外部者の意見を反映している。
 学生による授業アンケートを年2回実施している。
 上記、教務リーダー会を中心に毎年ブラッシュアップを行い精度を高める努力をしている。
 教務細則を設け、成績評価の基準を明確にした。

③課題

教科の指導については、担当している教員任せになっており、適切に行えているのかを切り切れていない。
 成績評価の方法が曖昧な部分がある。数値化出来るような評価法が必要。

④改善方策

教科の指導方法については教務責任者を中心に、各学科で意識・方向性を合わせる。
 また、授業見学等を実施し、適切に指導しているかどうかをチェックする。
 成績評価の方法としては引き続き教務リーダー会にて全体事項として検討していく。

⑤特記事項

--

基準4 教育成果

①自己点検評価結果

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

4-13 就職率について	R01
就職率（卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率）の向上が図られているか	3
就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4

4-14 資格取得率について	R01
資格取得率の向上が図られているか	3
資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	3

4-15 退学率について	R01
退学率の低減が図られているか	3
入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	3

4-16 卒業生について	R01
卒業生の社会的活躍及び評価を把握しているか	3

②現状認識・評価等

就職希望者に対する就職率は100%ではあるが、今年度に関しては中身の部分で反省すべき点がある。
 資格取得率については、特に美容学科での資格取得に向けての意欲を高める伝え方、指導の仕方が必要。
 退学率は昨年と比べると改善されているものの、グループ他校と比較すると高い状態であり、低減のための措置が必要。
 卒業生の情報は適宜本人より入手しているが、全員の情報ではない。

③課題

学生が何に対しても意欲的に取り組むように仕向ける指導とそのための指導力の向上。
 卒業生に関しては、卒業後の情報収集法を検討。

④改善方策

教員の学生指導力の向上。各教員の課題と改善策を明確にするために、教務シート作成と面談を実施していく。

⑤特記事項

--

基準5 学生支援

①自己点検評価結果

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

5-17 進路対策について	R01
学生の就職・進学指導に関する体制は整備され有効に機能しているか	3
在校生に対し、卒業生を例として特筆すべきものを記述できるか	4
就職に関する説明会を実施しているか	4
就職に関する学生個人相談を実施しているか	4
就職の具体的活動（履歴書の書き方など）に関する指導を実施しているか	4
5-18 福利厚生について	R01
学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され有効に機能しているか	4
奨学金制度が整備され有効に機能しているか	4
学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され有効に機能しているか	4
遠隔地出身者のための学生寮等、学生への生活環境への支援は行われているか	4
定期的に健康診断を行うなど学生への健康面への支援体制はあるか	4
学生の健康管理を担う組織体制があり有効に機能しているか	3
5-19 学生相談について	R01
学生相談に関する体制は整備され有効に機能しているか	3
学生相談室を開設しているか	3
5-20 課外活動について	R01
スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され有効に機能しているか	2
5-21 保護者との連携について	R01
保護者と適切に連携しているか	4
5-22 卒業生への支援について	R01
同窓会を含め、卒業生をフォローアップする体制が整備され有効に機能しているか	3

②現状認識・評価等

学生の就職活動についての体制は十分である。指導者の指導技術の向上は必要。
国の就学支援の認定校になるなど学生の経済的支援についても、整備されている
担任制度を採用しており、学生の相談に対応している。
また、担任だけでなく、様々な先生がかかわれるように複数人でクラスを見る工夫も実施している。

③課題

卒業生のフォローアップ。再就職斡旋のための情報開示があるとよい。

④改善方策

卒業生をフォローアップするための仕組みの検討・構築

⑤特記事項

基準6 教育環境

①自己点検評価結果

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

6-23 施設・設備について	RO1
施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
施設・設備のメンテナンス体制が整備され有効に機能しているか	3

6-24 学外学習について	RO1
学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか	3
学外実習、インターンシップ、海外研修についてその実績を把握し、教育効果を確認しているか	3

6-25 防災対策について	RO1
防災に対する体制は整備され有効に機能しているか	4
災害を引き起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	4
実習時の事故防止の体制は十分か	3
万が一の災害が起きた場合に備えた保健等の処置は十分なものとなっているか	3
防災訓練を実施しているか	4

6-26 学生の問題行動について	RO1
学生の問題行動について対応できているか	3

②現状認識・評価等

施設・設備は教育上の必要性に対応できる十分なものである。
 学外実習店舗を実践的な教育を実施している
 防災対策に関しては、マチナカキャンパスリーダー会議で集約し常に整備している。
 また、今年度実施した避難訓練もより具体的な場面を想定されていたので、改善されていると評価できる。
 学生の問題行動においては、発覚後すぐに対応策がとられている。

③課題

問題行動時の、処分の基準を設定し、学校間で差が無いようにする必要がある。

④改善方策

学生の処分基準を定める。

⑤特記事項

基準7 学生の募集と受け入れ

①自己点検評価結果

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

7-27 学生募集広報について	RO1
学生募集活動は適正に行われているか	4
学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かりやすいものとなっているか	4
志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか	4
募集定員を満たす募集活動となっているか	3

7-28 教育成果について	RO1
学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は伝えられているか	4
卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか認識する根拠を持っているか	3

7-29 入学選抜について	RO1
入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4
入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	3
学費は教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	3
学費に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	3

②現状認識・評価等

募集に関しては、更なる創意工夫が必要になる。
 募集人数に達していない場合は、入学選考の基準を満たさなくても合格させざるを得ず、入学後の教育目標の達成にも影響する。
 教育成果に関しては、募集に活用しているものの、卒業生の活躍という面ではそれが入学につながる要因になっているか図ってはいない。

③課題

募集定員を達成するための戦略的な広報活動の実施。
 卒業生の活躍の見せ方、伝え方

④改善方策

学校の目標とも関連させ、どんな学校を作っていくのか、そのためにどのような教育を実施し、高校生に何を伝えていくのかを
 将来を見据えて戦略的に検討する。
 卒業生の活躍のアピール方法を検討する。

⑤特記事項

--

基準8 教職員組織

①自己点検評価結果

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

8-30 教員の組織について	R01
学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	2
採用制度は整備されているか	3
教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	3

8-31 人事考査について	R01
人事考査制度は整備されているか	3
昇進・昇格制度は整備されているか	3
賃金制度は整備されているか	3

8-32 専門性について	R01
学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保しているか	3
教員の専門性レベルは業界レベルに十分対応しているか	3
教員の専門性を適宜把握し評価しているか	3
教員の専門性を向上させる研修を行っているか	3
教員の教授力（インストラクションスキル）を適宜把握し評価しているか	3
教員の教授力（インストラクションスキル）を向上させる研修を行っているか	3
教員間（非常勤講師も含めて）で適切に協業しているか	3
非常勤講師の採用基準は明確か	3

8-33 各セクションの連携について	R01
組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	3

②現状認識・評価等

教員組織として必要な人員は確保されているが、育成という面では不十分。
人事考査制度、賃金制度等は規定に定められている。
教員の教授力を高めるための研修は実施されているが、それが実践されているかどうかを調べていない。

③課題

教員の教授力の向上
非常勤講師との教育指導の差の改善

④改善方策

教授力を図るため、授業の評価を実施する仕組みの構築
(例として、責任者による授業評価の実施、授業の成果を図る方法の検討、その成果に対する評価の実施)

⑤特記事項

基準9 社会貢献

①自己点検評価結果

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

9-34 ボランティア活動について	RO1
学生のボランティア活動を奨励支援しているか	4
学生のボランティア活動の状況を把握しているか	4

9-35 施設の開放について	RO1
広く教育機関、企業・団体および地域との連携・交流を図っているか	3
学校の資源を活用し、生涯学習事業や附帯教育事業を行っているか	4
学校の施設・設備を開放するなど地域社会と連携しているか	4
重要な社会問題について学生や教職員に対し啓発活動を行っているか	3

②現状認識・評価等

企業・団体との連携は意欲的に図っている。
社会問題に関しては、行政からの通達事項を随時告知、チラシ配布で啓発している。
学生のボランティア推奨の機会があれば積極的に推奨して参加を促している

③課題

特になし

④改善方策

特になし

⑤特記事項